

教科目名 プログラミング基礎 (Basic Programming)

学科名・学年 : 制御情報工学科 2年

単位数など : 必修 1単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 青木照子

授業の概要			
1年次のプログラミング基礎で学習したC言語を基本として,より実践的なプログラムが作成できるように,情報処理の基本的なアルゴリズムを理解し,プログラム開発能力を養う.授業は講義と演習を組み合わせで行い,講義の内容を演習することで理解を深める.			
達成目標と評価方法			大分高専目標(B2)
(1) 1年次に学習した基本的なプログラミングのための文法とプログラムの流れを理解する.(定期試験と課題) (2) 構造体について理解し,プログラミングできるようにする.(定期試験と課題) (3) ファイルを利用するプログラミングできるようにする.(定期試験,課題) (4) 演習プログラミングを通して理解を深めるとともに,継続的な学習ができる.(課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
			【理解の度合い】
1 4	1年次の復習 ・関数の使い方とポインタの利用 (演習課題)	○ 自分の理解力を分析し,わからなかった部分を理解する(課題).流れ図が読めて,書けるようにする(課題)	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
5,6	構造体を用いたプログラム	○ 構造体の宣言,メンバの参照および構造体配列を理解し,プログラミングできるようにする(課題).	
7	後期中間試験	○ 理解力を分析し,わからなかった部分を理解する	【試験の点数】 点
8 10	ファイルの使い方 ・ファイルの入出力 ・ファイルを利用したプログラム	○ ファイルの作成や,ファイルからのデータの読み出し方法を理解し,プログラミングできるようにする(課題).	
11 14	総合演習(C言語のまとめ) ・ファイルを利用したデータの整理に関するプログラム ・目的のデータを探すプログラム	○ C言語プログラムの総合課題に取り組み,理解があいまいだった部分を正しく理解し,プログラミングができるようにする(課題).	
15	後期期末試験		
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	・ 講義や演習中にわからなくなったら,いつでも質問してよいことにする ・ 授業中の課題に重点を置く ・ プログラミング能力は,自分でやることで身につく		【総合達成度】
教科書	若山芳三郎著,学生のための基礎C(東京電機大学出版局)		
参考図書	C言語に関する参考図書は図書館や書店にたくさんある.		
関連科目	プログラミング基礎,プログラミング応用		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について2回の定期試験と課題で評価する. 総合評価=0.5×(4回の定期試験の平均)+0.5×(課題の点数) 総合評価が60点以上を合格とする.		【総合評価】 点